

クリチバ治安情報（クリチバ市レボウサス地区で発生した発砲事件）

21日付当地ガゼッタ・ポーヴォ紙（電子版）は、20日夜間に発生したクリチバ市レボウサス地区レストランでの発砲事件が発生した旨報じているところ、概要を以下のとおり報告致します。

1 発生日時

5月20日（水）午後9時30分頃

2 発生場所

クリチバ市レボウサス地区プレジデンテ・ジェトゥリオ・ヴァルガス大通り（Av. Presidente Getulio Vargas）とジュアン・ネグラアン通り（Rua Joao Negro）の交差点に位置するレストラン（Bar Brahma）

3 事件概要

同日午後9時30分頃、同大通り交差点に位置するレストランにおいて、客として来店していた軍警察官（非番）による発砲事件があり、警察車両が10台以上集まるなど、現場は一時騒然となった。

当日、非番で客として来店していた軍警察官2名は、飲食の料金支払額をめぐるレストラン側と口論となり、危険を感じ警察通報を行った女性従業員に対し、顔や頭部を殴打し傷害を負わせた。暴行時、同女性をかばおうとした夫（同従業員）にも暴行を行い、興奮した軍警察官の1名が所持していた拳銃を夫に発砲、銃弾は夫には当たらなかったが、入店してきた女性客の殿部に被弾した。同女性および店舗従業員は付近の病院に搬送されたが命に別状はなかった模様。

<当館からのお願い>

- ・発砲事件の現場に巻き込まれたときは、姿勢を低くし障害物があれば隠れるなどして、その場から動かないようにして下さい。また付近で銃声音が聞こえたときは、音が鳴った方に決して近付かず現場から離れるようお願いいたします。
- ・万が一このような事件の被害に遭われた場合は、速やかに軍警察（Policia Militar、電話番号190）に一報するとともに、被害届を最寄りの文民警察（Policia Civil、電話番号197）に提出することが事件発生現場の巡回強化や捜査等にも繋がるため、非常に大切であるとのこと。
- ・被害拡大防止のため、在留邦人等の皆様と（個人情報をおふせた上で）情報を共有するためにも、当館（担当：警備班・領事班）へご連絡いただければ幸いです。